

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	成人祝賀式開催事業						担当部	こども未来部		
	会計区分	一般会計						担当課	こども政策課		
	事業期間	平成26年度以前 ~ 平成30年度まで						担当係	青少年育成係		
	基本施策・展開方向	3 教育・子育て		13 子育て支援							
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	20歳の成人								
		どのような状態にするのか	新成人を対象に成人式式典を開催し、社会の一員としての新成人の自覚の向上を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 各中学校から推薦された新成人が運営委員となる運営委員会を開催し、新成人による成人祝賀式を企画運営した。 運営委員会では、過去の内容を再検討し、自分達でイベントの実施、記念品の有無、交流会のあり方などを決定した。 第1回目に昨年の運営委員3人にも参加してもらい、企画する上の助言をもらった。 職員は、運営委員会及び、成人祝賀式がスムーズに企画運営できるよう、助言・支援をした。 運営委員会開催回数: 10回(委員会9回、リハーサル1回) 成人祝賀式修了後、運営委員に運営委員会や式典について、アンケート調査を行った。また、反省会として、運営委員に参加してもらい、次年度の資料とした。 応援職員に、式典の運営について意見をもらい、次年度の資料とした。 平成29年1月8日(日)13:30~15:30 パークアリーナ小牧において式典開催。 第1部式典、第2部イベント(ビデオレター)、第3部交流会を実施。 <p>◆28年度直接経費の内訳(支出ベース) 成人式運営委託料(4,710千円)</p> <p>◆29年度直接経費の内訳(予算ベース) 成人式運営委託料(5,300千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,234	4,051	4,710	5,300	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,688	1,688	1,688	1,688
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	5,922	5,739	6,398	6,988	
対前年比		%		96.9	111.4	109.2		
財源	一般財源	千円	5,922	5,739	6,398	6,988		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	委員会委員数	人	目標	20	20	20
実績				18	19	18	
	委員会委員参加率	%	目標	80	80	80	80
			実績	70	83	79	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	成人式参加率	%	目標	75	75	75	75
実績			76	80	80		
	成人式参加数	人	目標	1,280	1,220	1,260	1,240
			実績	1,200	1,300	1,300	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	平成28年度は対象者数1,683人のうち、参加数約1,300人、参加率は80%であり、目標達成はした。					
		事業実施における課題	成人の多くは、保護者による送迎で出席するため、会場駐車場や道路周辺が混雑渋滞となってしまう。また、出入口においても、開場から式典開始時間までが混在するため、応援職員をはじめ警備員、運委員会委員とで、安全対策と会場へのスムーズ化を図っていくことが課題である。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	成人祝賀式は第1部式典、第2部イベント(ビデオレター)、第3部交流会を実施していく。臨時駐車場の表示看板を増やし、各交通看板や案内表示看板の適切な設置を図る。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	167	千円	予算区分	13	節	節
	判定理由・削減内容	成人祝賀式運営委員会委員は、式典の役割を担い、案内状作成やビデオレターなどの企画運営を行っている。そのなかで、当日参加する新成人へ配布する記念品は、ここ3年間、配布は行っていない。しかし、記念品配布の有無は、運営委員会で諮って決定していくため、平成27年開催の実績額(320千円)相当を参考にして検討する。29年度予算額(13節委託料5,300千円)から全体的に167千円削減を図る。						
	30年度以降の実施内容	引き続き、運営委員会を組織して、成人祝賀式を実施していく。選挙法の改正があり、今後、成人のあり方が問われてくるが、国の動向や他市町の取り組みを注視していく。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。